

2005年10月15日(土曜日)

アスベスト対策などを盛り込んだ9月補正予算が成立

全国で初めてとなるアスベストを規制する条例の制定や、総額63億75百万円余の補正予算が9月定例県議会において可決されました。今回の補正予算では当初予算を執行していく中で、新たに、災害防止など県民生活の安全・安心を守るため緊急な対策が必要なもの、北陸新幹線など事業の方針が決定され、これに基づく対応が必要なもの、観光誘客やブランドなど時期を逃さず迅速に対応することが求められるものなどについて、予算措置を行いました。

補正予算とは…

県の仕事は、毎年、予算という形で定め、進めることになっています。1年間の予算は2月から3月に開かれる県議会に諮り、決めることになっています。これを年度の初めに定める予算ということで、当初予算と呼びます。

しかし、実際に仕事を進めるなかで、新たに緊急に予算が必要になったり、初めの予算を変更したりする場合があります。これを補正予算といいます。

予算の概要

●県民生活の安全・安心

【アスベスト緊急対策】

アスベストによる県民の健康被害を防止し、県民の安全・安心を確保するため、全国で初めてアスベストに関する条例を制定し、県独自に必要な対策を実施します。

内容	国(大気汚染防止法)	県(条例)
アスベスト製品製造施設への規制	原動機(モーター)の定格出力3.7kW以上等の施設について、届出、敷地境界における濃度基準の遵守	左に定める基準以下の施設についても届出、基準の遵守を義務付け
アスベスト吹付け材使用建築物の解体工事等に関する規制	延べ面積500平方メートルかつ吹付け面積50平方メートル以上の建築物の解体や補修について届出、作業基準を遵守	左に定めるもの以外の作業についても届出、基準の遵守を義務付け
アスベスト吹付け材使用建築物の適正な管理に関する規定	特になし	アスベスト吹付け材使用建築物の所有者等に対し、吹付け材の損傷、劣化によりアスベストを飛散させないように、除去等の措置を講ずるよう努めるなど適正に維持管理を行うことを義務付け

【災害防止対策の充実】

(防災対策)

県管理の17河川について、浸水区域の指定に必要な調査を実施します。

この浸水想定区域のある市町村については、ハザードマップ(洪水予測地図)の作成が義務付けられたことを受け、このマップの作成調査を行う市町村に助成し、防災対策の早期充実を促します。

【治安の回復】

(自主防犯活動の支援)

夜間の犯罪や、子どもが不審者に声をかけられる事件等が増加しています。これらの犯罪を防止するため、市町村安全安心センター(全28センター)とふくいマイタウン・パトロール隊(74団体)の充実を図ります。

また、新たに玄関灯や門灯を一晩中点灯する「一戸一灯運

動」を県民運動として全県で実施し、夜間の防犯活動を促進します。



一戸一灯運動を呼びかける
「鯖江駅前エリアパトロール隊」

●北陸新幹線の整備促進

6月4日、県民の長年の悲願であった北陸新幹線の県内着工が実現しました。

平成20年度末完成を目指し、福井駅部整備を着実に推進するため、埋蔵文化財発掘調査を進めます。



6月4日、福井駅北側高架下で行なわれた起工式

●農林水産業の振興

（「若狭ぐじ」のブランド化）

京料理などで高級食材とされている「若狭ぐじ」のブランド化に向け、県漁連が行う市場調査、販売促進等の活動に対し助成を行います。



白身魚で淡白な中にも大変味わいのある高級魚。
朝廷にも献上されていた。

●ふくいブランドの創造

（恐竜ブランドの全国への発信）

開館後5か年が経過した恐竜博物館の今後のあり方、知名度向上の方策等について、幅広く検討します。

これと並行し、民間事業者と連携して恐竜博物館独自のミュージアムグッズの開発を速やかに進めます。



●健康長寿ふくい

（陽子線がん治療施設の整備）

本年3月に策定したエネルギー研究開発拠点化計画に盛り込まれた陽子線がん治療施設の整備について、「陽子線がん治療施設等整備検討委員会」の提言を踏まえ、平成21年度の治療開始を目指し、本年度は施設の基本設計等を実施します。

（健康長寿ふくいの推進）

健康長寿の研究者を特別アドバイザーとして委嘱し、健康



若狭湾エネルギー研究センターのがん治療設備

長寿食品の研究をはじめ、県の健康長寿に関する施策全般について提言を受け、新規施策の企画立案等に活かします。また、「健康長寿ふくい」ブランドの全国への情報発信を進めます。

●ビジットふくい

(ビジットふくいの推進)

本県への送客実績に応じて旅行業者に助成を行う『「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業』について、前年度から旅行者の募集が行えるよう予算執行の弾力化を行い、桜や新緑のシーズンなど春・夏の旅行商品についても支援の対象とします。これにより観光客の誘致をさらに推し進めます。



美しい桜並木が連なる春の足羽川

(河野海岸有料道路の利用促進と観光誘客)

冬の観光シーズンを前に、地元町村内の観光施設と有料道路とのセット割引チケットの販売や、旅館・民宿等による宿泊客への有料道路回数券の提供など、河野海岸有料道路の利用促進と観光客の増加を図ります。

●歴史・文化の香りただようまちづくり

福井駅周辺の魅力アップを図るため、福井城址の石垣と桜、御廊下橋のライトアップや天守台周辺の整備を行います。

平成18年度には、福の井や石垣に登る散策道の整備等を行い、福井の歴史散策コース(例:福井駅前→福井城址→養浩館庭園)を県民や観光客の憩いのコースとしてPRしていきます。

●地域IT化

(ケーブルテレビの整備促進)

多チャンネル放送や防災情報の提供、ブロードバンド・インターネットサービスの提供など、地域IT化の推進に重要な役割を果たすケーブルテレビの整備促進を図るため、全国に先駆けて県単独による独自の補助制度を設け、未整備市町村(地域)の早期解消を図ります。

●その他の重要施策

(被災者の住宅再建支援)

福井豪雨で被害を受けた住宅を再建するため平成16年度に創設した「被災者住宅再建補助金」が、被災者に十分活用されるよう、住宅の補修や家財道具等の購入に係る申請期限を3か月延長し、6月末までとしました。

今回は、申請件数の増加に伴う所要の補正を行いました。

9月補正予算の主要施策

(単位：千円)

区分	事業名	県民参加	予算額
県民の生活の安全・安心	【アスベスト緊急対策】		
	●新 アスベスト緊急対策事業	○	98,960
	【災害防止対策の充実】		
	●新 道路防災対策事業	○	98,000
	●新 浸水想定区域等調査事業		27,300
	防災情報ネットワーク再整備事業		45,000
	【治安の回復】		

	新 わがまち 安全・安心ライトアップ作戦 緊急配備支援システム整備事業	○	2,072 60,838
北陸新幹線の整備促進	新 北陸新幹線福井駅部遺跡調査事業		82,988
農林水産業の振興	新 福井鮮魚のブランド化推進事業	○	1,200
ふくいブランドの発信	新 恐竜博物館ブランド発信事業		2,100
健康長寿ふくい	新 陽子線がん治療施設整備事業 新 「健康長寿ふくい」推進特別アドバイザー設置事業 新 職場から進める生活習慣改善支援事業	○	4,000 <債務負担行為> 98,000 1,505 950
ビジットふくい	「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業 新 観光と連携した河野海岸有料道路の利用促進	○ ○	<債務負担行為> 50,000 —
歴史・文化の香りただよふまちづくり	新 福井城址整備事業	○	19,540
地域IT化	新 ケーブルテレビ施設整備支援事業 新 庁内情報システムの最適化		89,963 —
その他の重要施策	被災者住宅再建補助金 県議会議事堂耐震補強事業		70,339 27,500

- **新** …新規の事業です
 ○ 「県民参加」欄は広く意見を募集し、県民の皆さまに予算編成過程に参加していただいた事業です。
 ○ <債務負担行為>
 複数年度にまたがる事業など、将来の財政負担を伴う行為をする際に、来年度以降に必要となる予算を議会の議決により定めるものです。

予算編成の工夫

【部局横断型施策の推進】

アスベスト対策や治安の回復など、県民生活に密接に関連し幅広い対応が求められる政策課題については、関係部局長との政策議論を通じ、部局横断型の施策を推進します。

【職員提案型予算外事業の実施】

平成17年度当初予算では、既存の事業や施設の有効活用、将来の事業展開に向けた施策の企画立案など職員の創意工夫を凝らした特別な予算措置を伴わない事業を盛り込みました。今回の補正予算でもこうした予算外の事業に積極的に取り組んでいます。

【政策形成過程からの県民参加】

「予算編成過程への県民参加」を進めており、寄せられたご意見・ご提言を事業に活かすことにも力を注いでいます。

詳しい内容は、県のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

(URL <http://info.pref.fukui.jp/zaisei/17nendoyosan.html>)

この記事に関するお問い合わせは、次の課までどうぞ 県財務企画課 TEL0776(20)0234